

# 100人のNEWS

No. 178  
 NPO法人教育再生地方議員百人と市民の会  
 理事長 大阪市会議員 辻 淳子  
 【発行・編集責任者】  
 事務局長 増木重夫  
 大阪府吹田市古江台 2-10-13  
 TEL 090-3710-4815  
 FAX 06-6835-0974  
<http://www.100news.jp/>

## ヒゲの隊長教育を語る

### 佐藤正久参議院議員、百人の会NPO取得総会で記念講演

ある部族長 「佐藤、日本に帰らないでくれ、残ってサマワの街を一緒に再建してほしいんだ。あの苦労した土地もやる、家もやる。嫁もやる。」

ヒゲの隊長 「私は日本に嫁が」

ある部族長 「全然問題ない。イスラムでは嫁は四人までOKなんだ。日本に一人、サマワに三人、どうだ？」

・心乱れる隊長！ なんともつたない、折角の話を・・・冗談を言っているとお叱りを受けそうです。既報のとおり、弊「百人の会」がこの度NPO法人として再出発いたしました。その記念すべき第一回総会に、ヒゲの隊長こと、前イラク先遣隊長 佐藤正久参議院議員にお願いいただき、『自衛隊教育と日教組教育』と題し、「講演をお願いしました。そのテープおこし要約です。」※「講演のDVDはございません。請求ください。」

日時 平成22年8月7日  
 午後3時00分開会

会場 サムティフエム  
 新大阪(大阪市)

教育再生地方議員百人と市民の会のNPO法人取得おめでとうございます。そして、その第一回目の講演に呼び頂きまして本当にありがとうございます。自衛隊には27年ほど在籍致しました。今年は異常気象と云われるほど暑い夏ですが、私がイラク・サマワで体感した一番暑い外気温は64度です。カシミア、或いはシリア、レバノン、イラク、アフガニスタンなどに赴きましたが、そういう過酷な自然環境の中でも多くの国民は真面目に頑張っています。幸せになりたい、平和に暮らしたいという思いは、我々と全く同じです。『思いやり』と『いたわり』という言葉があります。『思いやり』は人を指す言葉ですが、自衛隊はどちらかを指すべきだと思いませんか？ 『いたわり』なんです。労働の『労』と書いて『労わり』と読みます。『思いやり』とは気持ち

のこと。『労わり』とは気持ちプラス汗をかくて尽くすことです。

自衛隊は考えているだけでは駄目で、いざというとき実際にそれを行動で示さなければなりません。災害派遣にしても国際貢献にしても、究極の場での体験はいずれ日本国を守るために役に立つだろうという想いで初めて参りました。自衛隊と一般の公務員の間には一つ違いがあります。それは自衛隊に入隊するときの宣誓です。私はそれをずっと持ち歩いているんですが、こういうくだりがあります。『事に臨んで危険を顧みず、身を以て責務の完遂に努め、以て国民の附託に応ず』国民の附託に出来るのは警察や消防も同じですが、命を捧げるといふことを初めから宣誓する職種は他にありません。18歳の若者でも、入隊すればその宣誓書にサインをして読み上げるのです。でも本当に最初からその覚悟をして入ってくる者はほとんどいません。国を愛する、郷土を愛する、仲間を大切に想う。そこからスタートで、学校教育や団体生活、或いは訓練を通じて、逐次、少しずつ積み上げていくものだと思います。むしろ『国防とは』などと最初からガチガチに固まっている人より、素直に上司や、教官の言うことを聞いたり、いろいろ自分で考えていく人の方が伸びていくような感じがしました。私も別に国防というものに強い関心があって防衛大学に入ったわけではありません。私は福島の兼業農家の長男として生まれました。物理が大好きで、将来は原子力とか原子核の勉強がやりたくて東北大学を受験しました。福島からも近く親の負担も少ないだろう

という考慮もありました。ところが叔父が事業で失敗し、祖父がその保証人になっていました。仕送りどころか、授業料も望めません。そのときまたまお隣さんが自衛隊員で、防衛大学と試験代わりを受けたらどうかと勧められました。それで二つとも受験したら合格し、物理が勉強できるという理由で防衛大学に決めました。

もう一つ、あるものを読み上げます。

『父や母に孝養を尽し、兄弟はみな仲良く、夫婦はお互いに助け合い、友達同士は互いに信頼し合い、人に接するときは礼儀をわきまえて接し、自分自身を慎ましく行動せよ。また多くの人には博愛の心を持って善行を行い、勉学に励み、仕事には精を尽くし、そして自分の知識の向上に努め、道徳を守る心を養い、自らすすんで社会公共の利益のために力を尽くし、公の仕事をするための努力をせよ』

これは教育勅語の現代語訳です。全然、軍国主義でも何でもないでしょう。当り前のことが書いてある。自衛官と言えば、やっぱり一番の心の支えは家族なんです。自衛隊には父兄会という組織があります。いざというとき国のために命を賭ける自衛官ですが、憲法上、その立場は曖昧なままです。まず、ご家族が彼らを支援し、国を守る彼らの支えとなるのです。次に『友達同士は互いに信頼し合い...』ですが、信頼しなければ命を預けることができません。「俺が右から行くから援護射撃を頼むよ」なんて、信頼がないとできません。礼儀、道徳、知識の向上も同じです。更に続きがあります。

『そして国の法律を守り、様々な規則に従い、万一非常事態が発生したときには、国家、社会のために自らを犠牲にして事にあたれ』

まさにこの部分は、自衛隊、警察、消防、海上保安庁に全く当てはまる部分です。そしていざというとき命をかけるという自衛隊という武装集団は、まさに教育勅語の精神を受け継いでいると思えます。こういったことをきちんと教育しなければ、「家の事情で任務につけません」とかという話になってくる訳です。

日教組関係の教師に、自衛隊とか軍といったものを『悪だ』と教えている人がいるそうです。自衛官の子供を名指しして、「勉強しないと○○さんのお父さんみたいになってしまふよ」など言ったり、自衛官や警察官の子供を教室の後ろでずっと立たせていたりということもあって聞いています。日教組教育の全く逆の精神要素で培わなければ、まともな自衛隊員は一人も育たないという感じを受けています。

北方領土4島の名前を全部言える若者



方々は自由民主党も含め、予算委員会のことでも頭が一杯で、気が廻らない。その後、アルカイダ系が犯行名を出したり、爆発物が検出されたりして、やっと前原国土交通大臣が記者会見を開きました。非常に意識が薄いんです。

普天間問題もそうです。鳩山元総理の「初めて沖縄の海兵隊の抑止力がわかった」という発言。自衛隊の最高指揮官は総理大臣なんです。総理大臣の命令で、我々はイラクに行っただんですから。最高指揮官に「抑止力がわかんない」と言われたらダメじゃないですか。

抑止力の一般的な意味はわかってても、では在日米軍の抑止力の意味は？ 沖縄にいる在日米軍の海兵隊の抑止力の意味は？ 沖縄の海兵隊の中で普天間部隊の抑止力の意味は？

なかなか明確に答えられる人はいないでしょう。でもそれがわからなければ「普天間問題を抑止力の観点から見直す」などと言えないんです。

鳩山元首相がああいう風な感じになってしまったのも、もしかしたら日本の教育の一つの形なのかも知れません。むしろ典型とも思えます。

自衛隊は、一番最初入ってきたら6ヶ月間の新隊員教育があります。最初の3ヶ月で一般的な自衛隊の技量というものを教えて、残りの3ヶ月で専門関係の基礎を教える。新入隊員は大体皆髪が長い。入るとバリカンで坊主にする。でも不思議なことに、チャラチャラしていた男の子も坊主にされると覚悟が決まるんです。不思議なもの、坊主にされると皆腹が据わるといいますか、ガーンとやられてしまつと普通のかわいい男の子になつてしまつ。髪型ひとつでも最初と全然違うし、やっぱり同じ仲間でしょう。100人単位でグループを作って、そこに3年ほど自衛隊を経験した先輩が24時間365日付く。また10年くらい先輩が1人付いているいる教えます。そういう団体行動をすると、日本人というのは頑張りやうんです。不思議なこと。連帯責任というものがあります。一人がうまくいかない、皆が支え合う。まさに教育勅語にある、友達同士を信頼し合いながら助け合わないと駄目である。自衛隊というのは団体行動で結果を出すので、一番下のレベルがそのグループの能力になつちゃうんです。一番下のレベルに引きずられます。そういうところから連帯責任という形で行くんなことをする。お風呂に行くのも、食堂に行くのも、10人で集まって駆け足で行ったり、隊列を組んで歩いていたり。外出も制限つきでしかできません。しかも最初の1ヶ月くらい過ぎてからでないと出れない。今まで自由にやりたい放題だった若者が、いきなり坊主で団体生活。でも皆同じくらい年代で、皆苦しいんだと互いに助け合う。途中で離脱できますよ。でもそこで頑張つて残ると、どんどん自衛官らしくなります。ここは上から教わるものではなくて、多分自衛隊で子供が変わつたというのは、仲間内での影響が大きいと私は思います。私も言う立場に立つて教育した

は少ないです。位置関係になるとお手上げでしょう。「北海道、本州、四国、九州を除いて、日本で一番大きい島はどれですか？」と質問して「はい、択捉島です。」「2番目はどこですか？」「はい、国後島です。」「そう答えられる子供はとも少ないでしょう。ちなみに3番目は沖縄本島、4番目が佐渡島です。自民党の一年生議員に尖閣諸島は何県かと聞いたら、「福岡県」と言う。沖縄県だと言つて「対馬と勘違いしていた」と言つたんです。対馬は長崎県です。日本の教育はこんなものなんです。どこからどこまでが自分の国の領土か、領海かまともに教えないんです。お隣の韓国なんて、竹島のこと物凄く主張するじゃないですか。韓国の国営放送の一番最後は竹島(独島)の映像です。「独島」という軍艦もあるし、「独島」という居酒屋もいっぱいあります。そのぐらい領土問題に関心があるんです。今の日本は65年間平和だったのと、島国だということもあって、教育の中に安全保障や危機管理というのがすっぽり抜け落ちていくんです。これがもしかするとアメリカの占領政策の一つかも知れません。

7月28日に中東のホルムズ海峡で、日本の商船三井が所有しているタンカーの爆発事故がありました。日本の油の約9割がそこを通るといふ、日本の生命線であるようなところでの事件でした。ホルムズ海峡というのは非常に狭い海峡で、最小幅はたった32km。自衛隊の大砲なら対岸に届いてしまいます。普通の国であれば、しっかりと原因究明をして安全の確保を図るのでしょが、残念ながら日本の国会議員の



ことがありますけれども、「お前たちは仲間だ...」

あつと私言いたいことのもうひとつは、自衛隊というの...

我々がイラクに行ったときも、我々の一番の軸...

この隊員には「こういふ子供がいるんだな、恋人がいるんだな...」

これからっていつ時に隊長が泣いてしまったら、皆が不安になってしまふ...

絶対に戻ってくる。何があっても絶対に戻ってくる...

我々も向こうで頑張りました。いろんなことがありました...

何故自衛隊が今までとカンボジアから始まって大きな怪我もないか...

本人でもジャーナリストの人が殺された。違いはそこにある...

隊員は必死になっていろいろやった。実際、向こうで色んなことが分かった...

先輩って凄いなと思った。我々も先輩に負けないうように頑張ろう...

更にもう一度この絆をイラク人に学ばされる。一緒に働いた大学卒業生の若者達...

ありがとう、ありがとうと言われる。「これでやっと子供を産める...」

今、日本の子供達が本気で大変な状況になっている...

更に、今「子供手当」がいろいろと言われているが、九州である中学生と話したときに彼はこういった...

外国人地方参政権も中途半端に入れてしまったら地域もバラバラになってしまう...

なるも家族もどうでもいいんです。自分中心だから。自分がお世話になっている組織もどうでもいい...

今、私たちが一部の人間でやろうとしているのは集団生活体験...

日本では、徴兵制は異論があっても出来ないと思うが、集団生活の体験というのは出来る...

国防と言ったのが私の軸だが、その前提はやはり教育である。みなさんと一緒にやっていきたいなと思ひます...